

中国の躍進著しい 日本はどう対応していくか



今年に入り中国の国内自動車販売台数が世界一となりました。その他にも機械販売台数、外貨準備高（世界第2位の日本の2倍）等々が世界一となり、中国の躍進ぶりが顕著です。

つい数年前までは、中国が先進国並になるのにはまだ相当時間がかかると思われていましたが、龍が天に駆け昇るかの勢いで躍進を続けています。科学技術面も含めてまだ先進国並にいたっていない部分は少なくありませんが、大きなマーケットへの期待と人件費の安さという期待より今なお先進国の多くの企業が中国に進出し、技術伝搬は極めて早くなっています。そのために先進国で10年かかった技術も数年で中国国内に広がっています。そしてなりよりも世界中のお金が中国に投資され、その潤沢な資金をもとに中国では国を挙げて、先進国の企業買収や資源確保等に走っています。

新しい技術開発には特許の問題があります。重要な特許を持つが経済的に苦しんでいる先進国の企業を買収すれば、いながらにしてその特許技術を手に入れることが出来ます。世界的不景気の中、この時とばかり中国はこうした企業買収により今一気に新しい技術を手の中に納めつつあります。すでに日本の企業も中国に買収されているところもあります。

かたや日本は、経済不況に苦しみ新しい技術開発に十分な資金を回すことが出来ず停滞気味です。「技術力」を誇ってきた日本企業は今後益々窮地に立たされていくでしょう。もはやかつての高度成長期のような日本の景気は望めません。これからの時代は皆さんの若い世代にかかってきます。これから如何に中国と関わり、どう日本のこの現状を打開していくのか、皆で知恵をしばっていかないと国全体が衰退してしまうでしょう。



そろそろギアチェンジを！

最近3年生の遅刻している姿をしばしば見かけます。学校では「遅刻しました」で済まされるかもしれませんが、会社に入れば給料に即反映されます。同時に社内の信用はがた落ちです。

学生時代は自分の問題で済むかもしれませんが、会社は組織です。自分勝手なことは許されなくなります。一人の遅刻や欠課は会社全体の作業に影響してきます。納期に間に合わせなくては会社の信用が落ち、会社自体が仕事を失うことになりかねません。

社会人となればそれだけ厳しく個人の責任が問われます。寒くなり寝過ごしということがあってもいいかもしれませんが、そろそろそんな生活も改めて社会へ出るためのギアチェンジをしていかなくてはいいないでしょう。

【今日の名言】

たくさん挑戦して、
たくさん失敗したからこそ
見出せた私なりのルール。

(雑誌「AneCan」、入江未悠)

<コメント>

失敗をしたくないと思っていいたら何にも挑戦できなくなります。

そして、挑戦しないから、失敗もない。

挑戦しなければ進歩もない。

挑戦して失敗をしてみなければ、自分なりのルールは出てこない。

他人の成功や失敗を見ていても本気のルールは発見できません。失敗を恐れず、挑戦を。